



## 差別意識



## ソフトボール出場権くじ

「帰れ！帰れ！」。その昔、血気さかんなデモ隊がこういう罵声を機動隊に浴びせかけていました。スポーツの試合などでも、どうかすると「帰れ！」コールが巻き起こったものです。人間は興奮すると目の前のところよく思わぬものに、この言葉を投げつけてしまうものらしい。米国ではいま、大統領が民主党の非白人女性議員に対し、「帰れ」をやっている。ソマリア生まれの議員らの名を挙げ、支持者を前に「もともといた国に帰ったらどうか」などと連発したのだ。トランプ氏のこの手の言動に慣れっこになってしまっている米社会ですが、こんどはさすがに反応が厳しい。下院は非難決議を採択しました。もっとも、大統領はそのくらい織り込み済みだといわれる。あえて支持者をあおり再選への足固めをしたようだ。会場は熱狂した人々による「センド・ハー・バック（彼女を送り返せ）」の大合唱に包まれた。ニュース映像からも異様さが伝わってきます。かくも差別意識に満ちた「帰れ！」が、かつてあったでしょうか。トランプ氏は支持者の高揚ぶりから距離を置くポーズを見せているという。しかし映像を見れば一目瞭然。響きわたる「帰れ！」に耳を傾け、満足そうな様子的大統領が映っている。憎悪を募らせる為政者と、それに呼応する普通の人々。そして熱狂は高まっていく。なにも米国だけの問題ではないように思う。正気にかえってほしい。

都商会 鎌野

## 暑中お見舞い申し上げます

熱中症に気をつけて  
楽しい夏をお過ごしください

勝亦製材駿河鉄骨鋼



この文章を書いている今日は、7月31日午前11:00です。私が文章を提出してなかったばかりに「木配り」の発行が遅れて、誠に申し訳ありません。いま、急いで書いてますので、今しばらくお待ちください。さて、東海地方は28日に梅雨明けして、いきなりの猛暑です。本日も、命に係わる感じの暑さです。とはいえ、御殿場は夜になると気温はかなり下がり、やはり夏は過ごしやすい所です。本当に、夏は御殿場に住んでよかったと、実感する季節であります。冬は、寒すぎるけどね！今は湿度も半端なく高く、さっき裾野の新築工事の現場の10年瑕疵保険の金物検査があつて行ってきたのですが、特に何もするわけでもなく立ち会っているだけで、笑っちゃうくらいに汗びっしょりで、息苦しさを感ずるほど暑かったです。ここ3日くらいで汗をたくさんかき、汗腺がだいぶ開いてきて、いよいよ夏本番て感じですね。しかし我々肥満体の者にとっては、厳しい季節です。汗をたくさんかくとやはり疲れますよね。でも水分を取らないと熱中症とかになるし、信じられないくらいの水分を毎日とってますね。ペットボトルにすると10本くらいは、軽くいってます。今年の梅雨は長く本当に雨ばかりで、毎年富士岡小学校チームとして出場している、父親ソフトボールの市の大会も、7月7日が順延になり7月28日が台風で中止となり、なんと駿東大会への出場権は、くじ引きとなりました。去年は県大会のベスト4まで進んだのですが、28日のくじ引きで3チーム中2チームが駿東大会へ行けるクジを監督の私が引き見事、うちのチーム以外が駿東大会へ進むこととなりました。選手の皆さんスイマセン。2度とクジは、引きたくありません。責任を取って監督を辞任させていただきます。



英樹



## 配り

第  
242  
便

勝亦製材駿河鉄骨鋼

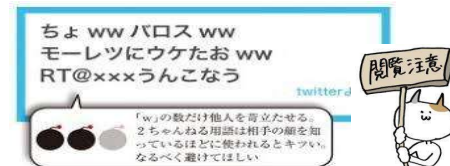
住まい塾御殿場教室  
TEL (0550) 87-0048  
FAX (0550) 87-1237  
〒412-0035 御殿場市中山518番地



物の怪の気配を潜め苦むせる  
樹海に踏み入り辺りをうかがう  
勝亦 りつ子  
母の日に孫から礼を言われたる  
「お母さんありがとう」と  
林 なをみ



## ネットスラング



ネットスラングというのをご存じでしょうか。インターネット上の会話で使われ、文字や記号を用いた俗語を指します。対面する会話では、人は表情を読み取り言葉の意味を理解しますが、文字だけの遣り取りでは感情の表現が難しく、時には誤解を招くこともあるでしょう。それを解消するためにネットスラングは使われたりします。一般的に認知されているものとしては語尾に付ける「w」、(笑) や (汗)、などでしょうか。wは「笑い」を入力する時のw a r a iの頭文字「w」で、楽しい雰囲気や和やかな雰囲気を表したい時に用い、それが三つで大笑いお意味します。(笑) も笑っているさまを表し、(汗) は焦っていて汗をかくさまを表したりします。(泣) で悲しさを表わしたり、(怒) と書かれれば、お分かりですね？

なぜこんなことを書いているかという、ついさっきまで外での作業をしていましたが、梅雨明けして暑い！！(滝汗) というようなことが言いたくてw

しかしここでいう(滝汗)は大いに焦っているのではなく、実際に滝のように汗をかいているのであります。飲んだ水分が五分後には全部汗として流れ出ているんじゃないかと思うほどに汗だくです。下を向くと眼鏡の内側は汗のプールになってしまいます。

さあ、夏本番ですね！皆様も体調管理にはお気を付けくださいね。

柳田 敏和



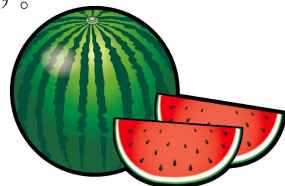
## 天気の名



梅雨の時期はジメジメとしていて過ごしの良い日は限られたものですが、人間だけでなく、植物にとっても異質なようで今年は特に日照時間が極端に少なく、農作物特に今の時期日光を浴びていなくてはならない米の発育が遅れているようです。梅雨が明けてみれば例年通りの猛暑がやってくるらしく、今のどんよりとした空が恋しくなるかもしれませんが、木や草花、その時節の物とは人間の様に一晚寝たら治るというものではなく、湿気が強ければ材木は磨いたその日の午後にはカビが生え、プランターのにんにくは溶けてなくなり、ナスは身をつけぬまま花が枯れてしまいました。

古来より日本は四季がはっきりとしていて、それを楽しむ心のようなものが他の地域より強く根付いていると言われていますが、四季がはっきりとしているというよりは、その節々に起こる現象が印象深いということなのではないでしょうか。台風、猛暑、山火事、洪水、積雪、豪雨など、日本人はそれぞれに名前をつけて呼んでいたりします。雨の名前だけでも400通りを超える表現があるといえます。それだけ気象の影響を受けやすく、アンテナを張って敏感に捉える気質であったということです。その日の天候など、過ぎてしまえばきっと忘れてしまうことなのでしょうが、日々の天気を気にするということは、毎朝テレビで天気予報をみて一喜一憂する行為は、きっと日本人らしい過ごし方なのではないかと思えます。

正樹



## 夏の戒め三つ



年令を重ねるのに、追い打ちをかけてくる気象の厳しさ。“楽あれば、苦あり”を改めて思い知る日々。

今更乍ら、私自身生活態度の改良を並べてみました。

一つ、早寝早起き。用事はなるべく早朝に済ませ、昼間は、なるべくのんびりと。

二つ、食事の内容に気を使う。好きな食べ物に偏らず暴飲暴食を慎む。

三つ、なるべく体を動かす。

熱中症対策に水分、塩分補給だけでは、間に合わないことを思い知らされています。

栗原



## 鳴き声

飽きるくらいの雨のあと、我が家に巣を作ったツバメは2回目の雛が巣立ち、電線に等間隔で並ぶ子ツバメが鳴きながら、こちらを眺めている今日この頃。昼間の暑さは、苦しくなる程暑い。やっと蝉が鳴きはじめたかと思えば、夜は秋の虫が鳴いている・・・これから8月なのにね。その雨がつづいた7月、御厨地域のお盆、会社はお休みでした。私にとっては有難いこと、現場管理をしている者は稼働していました。お盆の前は草取りに追われ、あそこもあっちも草がみえる！！隣の家が新盆なので、我が家の畑が草ばかりではねえ・・・と必死に草をとる。其れに加え、うちにいらっしゃる獣は、網の中のトウモロコシを食べに食べ。育てた人間の口には入らない。獣はなにかわからない。工事現場でピカピカ光る物を3～4カ所設置したところ、一時は来なくなったが、何の害もないと分かればまた・・・。勘弁してもらいたい。ピカピカ光る物は昼間ソーラー充電し夜光る。赤や青とクリスマスかい！とつつこみたくなる程。まあ、綺麗だと思って頂ければ。近所の人々が獣を捕獲する檻を貸してくれ、トマトを餌に設置したが、一向にかからない！！かかってもらっても困るんだが・・・と内心想っているせいだろうか。夜な夜な鹿の声を聞きながら、秋の虫の音が大きくならないかと、難しい俳句考えてます。

兼題 蝉 「杜ゆれる蝉の輪唱カナカナカナ」入選外 おそらくベターだったのだろう

「透けそうな羽化した蝉の無防備さ」佳作

兼題 梅雨 「手フレーム重なる縦線梅雨の海」佳作

佳作が未だつづいています。頑張ります！



ねがみ